

住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の

ATOM NEWS

2017 SUMMER

196





KANAGU

kanagu-store.com

- 3 アテナの道具箱 製本家 本間あずささん
- 6 石の神様・仏様 嵐は何かを学ぶためにある
- 7 住まいに役立つ仲間たち 『キッチン』は、今やおしゃれな空間に!
- 9 CSタワー通信 アトムCSタワー 10周年の記念展示を行いました
- 10 Vegetable Atelier コールラビ
- 11 古今東西たてものがたり 埼玉県比企郡川島町 遠山記念館
- 15 What is ATOM? 2017 春の新作発表会レポート
- 17 SLOWでいこう 大阪市 Salon de AManTo 天人
- 18 オフタイム

今号の表紙

写真 コールラビ



「コールラビ」については10ページでご紹介しています

photo by 吉田周平

1981年神奈川県南足柄市生まれ。千葉県八千代市在住。娘の誕生をきっかけに写真に会う。あるがままの日常を独自の視点で撮影する。

読者プレゼント Present



● 真空二重構造チタン製タンブラー TITANESS Tumbler Wine

ギャラリーショップKANAGUのアイテムのなかでも高い人気を誇る、チタン製タンブラー「タイタネスタンブラー ワイン」。名前はワインですが、焼酎のロックなどを召し上がるイメージでお求めいただくことも多いようです。特徴は何とんでも保温・保冷性に優れていること。真空二重構造によってあたたかいものは冷めにくく、冷たいものなら氷は何時間も溶けずに残っています。

新潟県燕市の高度な金属加工技術に裏打ちされた高い機能性と美しいデザイン性、そしてこの存在感は、タンブラーを手にとったとき、そして好きなドリンクを口にしたときに実感できることでしょう。

【サイズ】φ72mm×H86mm 280ml 【材質】チタン 【重量】95g
【販売価格】16,000円＋消費税 【色】Mirror *桐箱入り

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にプレゼントいたします。

締め切り 2017年7月31日(月)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップKANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。





アテナの道具箱
ATHENA'S TOOL BOX
VOL. II



— 手製本の作業 —

武蔵野の閑静な住宅街の一角にある、古民家風の一軒家。小さな菜園がつくられた庭の柿の木や可憐な花々が、季節の移ろいを感じさせる。「空想製本屋」の間あずさんの自宅兼アトリエである。

手製本の作業を見せていただいた。

作業台には、一冊の本となる前の折丁おりちょうと呼ばれる紙の束。「通常は、印刷を終えて断裁され、16ページ分が一束になります」。その折丁を麻糸で縫い綴じ、ページ順にかさねていく。一冊分の本文がまとまったら、背の部分を牛骨のへらなどを使って糊で固め、製本用のハンマーで丸みをつける。

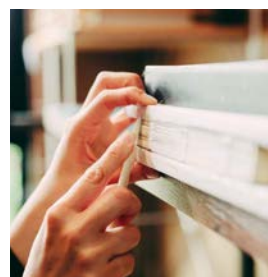
さらに、その丸みをイチヨウ形に成形するためにプレス機へ。「本がスムーズに開くようにする作業のひとつです」。

次に、背の部分に補強用の布を貼り、「花ぎれ」などをつければ、ひとまず本文部分は完成する。だが、そこに表紙をつけ、本という形ができあがるまでには、さらにいくつもの工程が必要となる。

— 自由な本の形 —

本間さんと手製本との出会いは、大学四年生のとき。二十一歳の春だった。

きっかけは、ブックデザイナーで製本工芸家として知られる柝折久美子氏の本



本と人を繋ぐ

製本家 本間あずさ AZUSA HONMA

1983年茨城県空問市生まれ。東京外国語大学卒業。大学在学中の2005年より都内の工房にて手製本を学ぶ。編集職を経た後、2010年「空想製本屋」を屋号に製本家として独立。

2011年、半年間スイス・アスコナの製本学校に留学。現在は東京都武蔵野市に自宅兼アトリエを構え、少部数の受注製本、製本教室、ワークショップなどの活動中。手製本リトルプレス MONONOME PRESSを主宰



を読んだこと。一読して魅せられた。「手製本とは本と人との間を繋いでくれるものだと実感したのです。これを仕事にしたいと、そのとき決めました」。本間さんは、手製本の基本的な技術を身につけようと、大学を一年間休学して、その勉強に打ちこんだ。一冊の本との出会いが、人生を運命づけた。

もともと、手製本の伝統はヨーロッパのもの。「何百年も前から、本は仮綴じ、未綴じという未製本の状態で販売され、読者がそれを町の製本屋や製本家に注文して、自分好みの装幀に仕立てるといった文化がありました」

しかし、日本では版元製本の大量生産が主流であり、個人が本の形を自由に選ぶという文化は育たなかった。「でも、手製本なら読者が自由に本の形を考えられるし、本づくりという工程にみずから関わることが出来ます」

一人に一冊。自分のための本をつくりだす喜びが得られるのだ。

— 解体と再構築 —

「空想製本屋」という屋号は、手製本を習い始めた大学時代から決めていた。「本は形になる以前に、いろいろなイメージや想いが織りこまれていきます。それを大切にしながら手作業から生まれる空想を



羽ばたかせて、一冊の本という形に仕上げ
る。それを表現するような屋号にした
かった」という。

本間さんが「本のお仕立て直し」と名
づけているのは、そんな想いを仕事にし
たものだ。「まずは、お客さまが大切に
している本をお預かりして、その本に寄せ
る気持ちや秘められた物語を伺います。
それに沿ってイメージをふくらませて、
本のデザインやモチーフ、色味などを決
めていきます」

預かった本を、いったんバラバラに解
体し、ふたたびイメージに沿って再構築
する。手製本という工程を経て、新たな
本に生まれ変わらせるのだ。

その人のためだけの、世界にたった一
冊の本。それはかけがえのない友人や人
生の伴侶ともいえる特別な一冊として、
人の傍らに寄り添っていく。

— 祈る気持ち —

手製本を通して紡ぎだされる、本と人
との濃密な関係。「いちばん気をつかい大
事しているのは、その本の一生を考え
ること。お客さまの手元に渡ったあとも、
それから先も、ずっと育つていって大切
にされますように。そして、世代を超え
て子どもや孫の時代にまで受け継がれて
いきますように」と願う。

ひとつひとつの作業に心をこめ、時間
をかけて、丁寧に、丁寧に。「美しいものを
生み出したいと、祈るような気持ちです」
その本間さんが思い描く理想の本があ
る。「本は人間がつくりあげた人工的な創
造物だけれど、人間のエゴや作為が感じ
られないような本、まるで自然物のひと
つであるような、そんな本づくりが目標
です」

ある日、ふとやってきて家族の一員に
なったような、何気ない存在。そこに製本
家がいしたことすら忘れさせるほど、自然
の中に溶けこんでいる、そんな一冊の本。
野辺にひっそりと咲く、一輪の花のよ
うに。



石の
神様

仏様

25

大分県豊後大野市 普光寺 磨崖仏「不動三尊像」 嵐は何かを学ぶためにある

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。

毎年ここには恐ろしい嵐がやってくる。

それをいやだと思いうやつもいるが、俺たちは平気だね。

なぜなら、人生は嵐が過ぎ去るのを待つことではなく、

嵐の中でも何かを学び取って、明日に生かすことだから。

つまり、嵐は、人生の重要な一部なのさ。

あんたは今、人生ではじめての嵐の中にいて

それが永遠に続くのではないかと

不安になっているかも知れない。

実際には、嵐はいつかは過ぎ去るものだが、

一度終わったからといって安心はできないよ。

嵐は何度でもやって来るものだからね。

だからこそ、嵐の中に隠された知恵を探し出して

自分のものにするやつこそが、

よりよい人生を生きることが出来る。

気が遠くなるくらい昔からここにいて、

数えきれないほどの雨や風を身に受けてきた

俺たちが言うんだから、確かなことさ。



普光寺 磨崖仏「不動三尊像」(大分県豊後大野市)

人里離れたお寺の奥に広がる不思議な光景。谷の向こうの岩壁に不動明王とその手下である二人の童子の姿が彫られています。お不動さんの高さは11mほど。左側に石窟が二つあり、小さい方の中にはお堂があります。どちらの石窟の壁にも、小さな磨崖仏が彫られています。この日は大嵐でしたが、初夏にはこの谷いっぱいにアジサイが咲いて、たくさんの方が訪れるそうです。

●JR豊肥本線朝地駅から車で10分



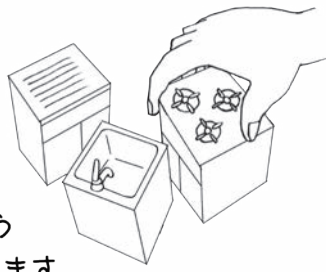
文・写真 吉田さらさ 寺と神社の旅研究家

寺、神社、仏像に関する執筆と講師が主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様・仏様の像の魅力に気づき、写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワークとなった。2014年秋に、撮りためた写真をまとめた本『明日がちよっと幸せになる お地藏さまのことは』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)を上梓。その他、『近江若狭の仏像』、『石仏・石の神を旅する』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

<http://sarasa77.hatenablog.com/>

ますます進化する最新のキッチン

最近のキッチンは、シンクとガス台そして調理台が一体となったコンパクトなものが一般的となりました。また、さまざまなオプションが用意され、各家庭に合うこだわりの空間演出やレイアウトが可能になってきています。



住まいに役立つ
仲間たち

KITCHEN

ガスコンロと電化製品の変化

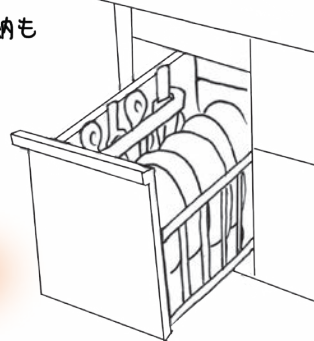
コンロもガス型に加え、IHの電気で調理できるタイプのものも増えています。最新のコンロでは鍋に水が無くなると温度を感知し自動で火が止まるようになっています。

またさまざまな電化製品の進歩は著しく、たとえば電気釜でも煮込み料理やパンなどが作れたり、幾通りもの使い方ができるタイプも出てきました。



収納の変化

冷蔵庫が大型化し、いまでは野菜専用収納も付いたものが主流です。鍋やフライパンも表には出さず（あえて見せるデザインのキッチンもありますが）多くの場合、棚の中に収納され、またお米なども専用のストッカーにしまわれています。また床下収納も充実して大量に食料の備蓄ができるようになりました。



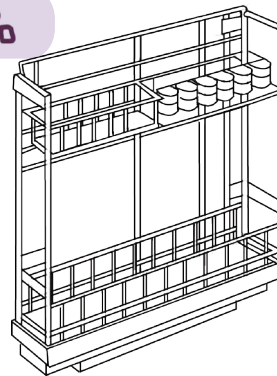
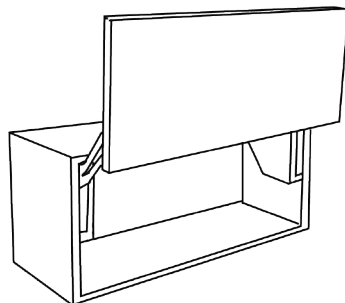
ネットと繋がる
ハイテクキッチン

最新のキッチン用商品



スイングリフター

スイングアップヒンジ



キッチンラック

『キッチン』は、今やおしゃれな空間に！

台所から「キッチン」へと変貌した要因は、料理方法に関係があると思います。煙の臭いが立ちこめた昭和初期の台所から、やがてガスや電気による料理ができるようになったキッチンへ。その日の料理が完成してしまふ時代になっています。



塩浦 信太郎

信太工房主宰／カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作。ほかにデパート各店で展示販売などを行っている

食べることのできる金属

紀元前4000年頃の古代ギリシャでは亜鉛と銅との合金である真鍮を作っていました。日本では16世紀まで亜鉛は中国名で倭鉛と呼ばれ、亜鉛と呼ばれるようになったのは、さまざまなものがイラストと文章で記録されている『和漢三才図会』^{わかんさんさいずえ}という江戸時代中期(1713年)の文献が最初といわれています。この鉱物はさまざまな金属と合金にすることに適しているため幅広く使用され、また、亜鉛メッキにより鋼材に亜鉛皮膜をつくることで鋼材を錆から守るという優れた特徴を持ち合わせています。そのほか亜鉛粉末をペンキの中に混ぜて鉄の表面に塗装するジンクリッチ塗装材にしたり、ダイカスト用亜鉛合金(亜鉛にアルミニウムと銅を混ぜた合金)は強度があつて流動性も備えているため、超合金の玩具やドアノブ、電化製品、自動車などの材料として使われています。



亜鉛は土の中にも含まれており、生物にとって生育に必要なタンパク質の合成や骨の発育に欠かせないミネラルです。新陳代謝や免疫力を高めたり、タンパク質やDNA、RNAの合成にも関係しています。このほかにも亜鉛にはデトックス効果があり、有害物質を体内から排泄したり毒性を抑えたりすることができます。体内で亜鉛が欠乏すると記憶力低下や味覚障害が起こってしまいます。一方で工業用に作られた亜鉛や高濃度の亜鉛は人体に有害です。

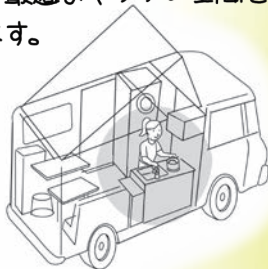
インターネットとキッチン

昔は、料理も同居の母親から教えてもらうことができたのですが、いまでは、核家族化が進み、インターネットなどで得たレシピをもとに調理をする人が増えているようです。



こんなキッチン付きのキャンピングカーが登場!

最近のキャンピングカーのキッチンは必要最低限の機材がよく考えられており、最適なキッチン空間を装備しています。

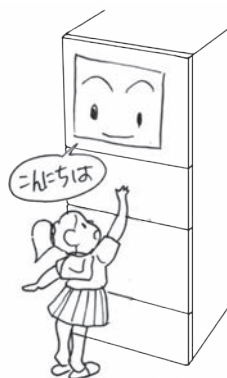


アウトドア料理へのこだわり

青空の下でバーベキューなどアウトドア料理を楽しむ人が増えています。アウトドア料理にこだわり始めると、バーナーコンロやダッチオーブンのように野外キッチンならではの魅力が広がります。



やはり人間は身近に火を感じていたい動物かも知れません



最近の冷蔵庫は、ユーザーに話しかけてくるようです。全国の方言で話をするものまで登場。手取り早く簡単に料理ができるのはよいですが、個人的には、鍋を火にかけ、それを囲みながら話し、料理を楽しむのが最高においしい食事のような気がします。



10th ANNIVERSARY



CS TOWER 通信

アトムCSタワー

2 2007年1月のオープン以来、多くのお客様に越えたいいただき、このたびアトムCSタワーはおかげさまで10周年を迎えました。これを記念して、CSタワー1階のギャラリーショップ KANAGUでは、1980年に今と同じ場所に開設した亜吐夢金物館にまつわる昔の写真の数々、そしてCSタワー周辺の観光スポットやグルメ情報の展示を行いました。当時の金物館を知るお客様には、懐かしくご覧いただいたようでした。



アトムCSタワー 10周年の記念展示を行いました



C Sタワーの10年は、同時にアトムニュースのリニューアル創刊号(157号)発刊からの10年でもあります。記念展示では、これまでアトムニュースに登場してくださった方々のお顔や、CSタワーでの活動の様子などを写真とともにご紹介しました。これからもアトムCSタワーとアトムニュースを変わらずよろしく願っています。

シントラトピ!

新橋に今も残る田村の旧地名「田村新交町会」

CSタワーが位置する新橋4丁目31番地は「田村新交町会」という町会に属します。その名はかつてこの地に関藩田村右京太夫の屋敷があったことに由来します。CSタワーのすぐ近くには浅野内匠頭が切腹した場所を示す石碑が建っていますし、新虎通り沿いにはそ

の歴史にちなんだ「切腹最中」が看板商品の和菓子屋さんもあります。この町会エリアの中央を新虎通りと日比谷通りが十字に走り、町会を見事に4分割していますが、今もなお地元住民を中心に、新虎エリアの再開発に注目しつつ、活発な町会活動が行われています。



アトムCSタワー

東京都港区新橋4-31-5 TEL.03(3437)7750

Open 月-金 10時-18時

Close 土・日・祝日(第1・第3土曜日は営業)

JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

photo by 吉田周平

多くの顔を併せ持つ、 不思議なルツクスの コールラビ

根っこじゃなくて、丸い茎。

奇抜な見た目に反した

キャベツのような甘みのある優しい味と、

カブのようなシャキシャキとした

歯ごたえが特徴的。

火を通して煮崩れ知らずという

まるでおでんの大根のような一面も。

変幻自在のコールラビです。

どんな料理にも大活躍ですが、

おすすめは、生食。

アンチョビと合わせてマリネにすれば

冷えた白ワインが恋しい味に。

ほかにもペロンチーノに入れたり、

グリルにしても味わい深い。

もちろん、おいしいのは茎だけでは

ありません。

苦みのある葉は、豚肉と炒めれば大人の

味になりますよ。

そんなコールラビも、

やがてはかわいい花を咲かせます。

花芽からはブロッコリーの風味。

最後まで楽しめる、デキる野菜です。



クリタタカシ 野菜農家「キレド」代表。サラリーマン時代に出会った「梨のような大根」に感銘を受け、農業の道に。現在は千葉県四街道市にて、年間150種類以上の野菜を栽培している。「野菜の一生をみる」「レストランでしか食べられないような野菜を、食卓にも」を基本理念として活動中。同県千葉市には、とれたて野菜を味わうことのできる「キレドベジタブルアトリエ」も。

キレドベジタブルアトリエ
千葉県千葉市若葉区小倉台5-13-4-1F
www.kiredo.com



古今東西
たてもものうたり

職人技の粋を極めた近代和風建築

埼玉県比企郡川島町・遠山記念館

取材文 倉田ひさし 撮影 大垣善昭

埼玉県のほぼ中央に位置し、荒川や入間川など四方を川に囲まれた川島町。のどかな田園風景の中に静かな佇まいを見せる遠山邸は、日興證券の創立者・遠山元一氏が、昭和八年（一九三三年）から二年七か月の歳月を費やして完成させた大邸宅である。以来、八十二年の風雪に耐え、ほとんど増改築をすることなく当初の姿を継承し、平成十二年（二〇〇〇年）には、昭和を代表する近代和風建築として国の登録有形文化財に指定された。

異なる建築様式を持つ豪邸

遠山邸には、三つの異なる建築様式がある。東棟、中棟、西棟の三つの棟が、それぞれ独立したスタイルと個性を際立たせ、しかも違和感なく渡り廊下で結ばれているのだ。

茅葺き屋根をいただく表玄関のある東棟は、先祖伝来の家を再興したことを象徴する豪農風。それにつづく中棟は、貴賓や遠方からの来客を接待するための格式ある書院造り。離れとなる西棟は、建築主の母親が安楽な余生を過ごせるように京風の数寄屋造りとし、茶室のある隠居所の設備を整えた。

建築にあたっては、当時の最高技術を持った大工や左官、木工職人を集め、全国から貴重な木材や銘木、銘石を取り寄せた。

総建坪は二百五十坪を超え、関わった

職人の数は延べ三万五千人。およそ二年七か月の歳月をかけ、近代和風建築の粋を極めた豪邸が竣工したのは、昭和十一年（一九三六年）四月のことであった。

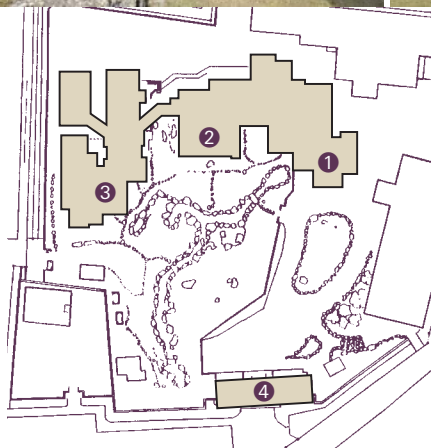
生家は没落し、一家離散

建築主は、日興證券の創立者として知られる遠山元一である。

遠山は明治二十三年（一八九〇年）に埼玉県比企郡三保谷村（現・川島町）の豪農の長男として誕生。生家は「梅屋敷」と呼ばれるほどの広大な邸宅であった。

ところが、米相場などに手を出した父親の放蕩の末に家は没落。暮らした父、田畑山林はもとより、家屋敷や蔵まで次々と売り払い、一家離散を余儀なくされる。

そんな中、離縁された母・美^み以^いは実家に戻るが、遠山は父のもとに残り、母子



- ① 千鳥破風の茅葺き屋根が印象的な豪農風と、武家風の式台を備えた表玄関。茅はおよそ20年ごとに葺き替える
- ② 貴賓の接待用に建てられた書院造りの二階家。遠山邸建築の総指揮は実弟の遠山芳雄、設計は室岡惣七であった
- ③ 母・美以の居住空間であった西棟は京風の数寄屋造り平屋建て。来客が庭から気軽に上がれるよう工夫してある
- ④ 武家屋敷スタイルの堂々たる長屋門。大扉の左右の鏡板には東京・府中産と伝えられる樺の玉圭が使われている

は離ればなれとなってしまふ。

その母も兄嫁との折り合いが悪く、他家に嫁いだ姉を頼って実家を飛び出す。姉の家に間借りしながら、近所の娘たちに和裁を教えながら生計を立てた。

一方、遠山は高等小学校を卒業後、十六歳で日本橋兜町の株屋の丁稚奉公に出される。生来の病弱から病気と貧困に苦しみながらも、株式の取引に才覚を発揮やがて独立し、昭和十九年（一九四四年）に戦後の四大証券会社の一つとなる日興証券を創業。まさに立志伝中の人物となった。

紆余曲折の後、遠山は東京・麻布の自宅に母を呼び寄せ、一緒に暮らすようになる。そして苦労を重ねた母のために、かつて生家があった土地に、家を再建しようと思ひ立つのである。

各部屋を彩る細やかな意匠

母に捧げる想いをこめて竣工した遠山邸。そこには細部にまで気配りされたデザイン、磨き上げられた職人技が活かされている。

たとえば、表玄関には京都から運ばせた鞍馬石の沓脱、樺の一枚板の式台。天井は美しい木目模様に彩られた樺の玉柵の格天井。豪農風ではあるが、武家スタイ



珍しい三本引きの敷居のある茶の間。三和土（たたき）風に瓦が敷かれている



母・美以の寝室。庭に置かれた藁形の手水鉢の下には水琴窟があった



掛込（かけこみ）天井に畳と赤松の板張り床という片身替わりの廊下



垂木が放射状に広がる唐傘天井の浴室。シャワー設備も整っていた

ルを探り入れた格調の高さを感じさせる。東棟の十八畳の居間は、囲炉裏と縁なし畳が民家風の雰囲気醸しだし、竣工時に掛けられた柱時計が、いまも時を刻む。

また中棟にある書院造りの大広間は、天然絞りの北山杉の床柱に、一間半の床の間。壁は柘榴石を砕いて砂状にした華やかな臙脂色の本霞壁。この大広間から眺める景色が最も美しく見えるよう、歪みのない四尺幅の面取りガラスをアメリカに特注し直輸入した。

さらに数寄屋造りの西棟にも、さまざまに意匠が施されている。七畳の茶の間には、周りを縁取るように敷かれた「磚」と呼ばれる黒の艶消しの敷瓦。庭側のガラス戸を開け放せば、開放感あふれ、庭と部屋が一体となる仕組みである。

この茶の間は、友人をもてなす茶室としても使われた。部屋の壁は土に含まれた鉄分が錆びて黒く変化した「墨差し天王寺」。濃淡のある独特の風情を生み出している。

本来この西棟は、母のための住まいとして建てられた。ところが、いざ完成してみると離れに独りはあまりに寂しい。そこで母は、いつも東棟の囲炉裏のある部屋にいて、近所の幼なじみを呼び寄せ、昔話に花を咲かせるのが日課だったという。

アトムの視点



長屋門の大扉の玉柵に始まり、表玄関やそれぞれの和室の天井を仰ぎ見れば、見ごたえある木目模様が私たちの目を楽しませてくれます。全棟を通して「どうだ、まいったか」と言わんばかりの華やかな装飾はありません。でも、そこにしばらく佇んでみることで、遠山が邸宅に注いだ静かな情熱が伝わってきます。建物全体の保存状態の良さにも脱帽です。



中棟2階応接室から寝室へ向かう出入口のレバー錠。エスカッション（台座）とレバー部分ともに72ミリと、比較的小ぶりです。現在はレバーが水平になっているものが主流ですが、こちらは垂直方向から90度回転させて開け閉めします。すぐ下には錠穴があり、未使用時はプレートで覆われています。



かつて吉田茂も訪れたという書院造りの18畳の大広間。アメリカから直輸入したガラス戸の向こうには、四季折々の風情が楽しめる庭のパノラマが広がる

母への愛に満たされた建築

母・美以は、この邸宅で何不自由なく幸福な余生を過ごした。

昭和二十三年（一九四八年）、八十二歳の長寿を全うして逝去する。前半生の労苦や悲しみを乗り越え、孫やひ孫にも恵まれた大往生であった。

遠山は後に自らの著書に、

「私がぐれもせず、自暴自棄にも陥らず、どうにか人間の道をふみ違えないでここまでやって来られたのは、まったく母のお陰であった。（中略）母はいつも私の心の中にあつた。苦しい時には母を思い、心のゆるむ時には母の眼を感じたと記している。

遠山邸は、その後法人としての認可を受け、建物や庭の保存公開と、蒐集された美術工芸品等の保管展示を目的として美術館を併設。昭和四十五年（一九七〇年）から「遠山記念館」として一般公開されている。

竣工以来、八十一年の歴史の変遷を経て、「遠山邸」から「遠山記念館」へ。母への愛に満たされた建築は、その温もりの想いととも、いまでも静かに佇んでいる。

INFORMATION

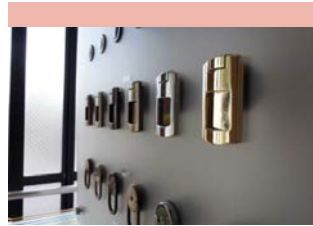
遠山記念館

- 所在地：埼玉県比企郡川島町白井沼675 ● TEL. 049-297-0007
- 開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）
* 中棟2階は特別公開日に限り見学可
- 休館日：月曜日（祝日の際は翌日休）
- 入館料：大人700円 学生（高校・大学）500円（20名以上は団体割引）
* 中学生以下は無料。障害者手帳をお持ちの方は200円割引
- 交通：東武東上線・JR埼京線「川越駅」から東武バス「桶川駅西口行き」、またはJR高崎線「桶川駅」より「川越駅行き」で「牛ヶ谷戸」下車、徒歩15分。車の場合、関越道「川越IC」より30分、または圏央道「川島IC」より7分
- ホームページ：<http://www.e-kinenkan.com>



中棟の2階にある和風とアールデコ風の和洋折衷デザインの応接室

東京会場
アトムCSタワー



大阪会場
アトム住まいの
金物ギャラリー大阪



2017 春の新作発表会レポート

去る4月、大阪と東京でアトムリビンテック「2017 春の新作発表会」を開催いたしました。上吊式から下荷重式まで、さまざまなニーズに対応したソフトクローズ引戸、シンクロ連動引戸や新型折戸金具などの施工例をご紹介いたしました。また東京では、住宅の間取りをイメージした「LIVIN' ZONE」を新たに設け、大開口間仕切り引戸や移動間仕切り金具を実際の住空間に近い状態でご覧いただいたほか、東海大学産学連携作品展も同時開催いたしました。

移動間仕切り SW-900

家族構成や生活様式の変化に応じてフロアの間仕切りをフレキシブルに変えることができる、移動間仕切りシステムです。ハイタイプのドアにも対応し、戸の重量は40kgまでOK。吊り車には走行がスムーズなベアリング車輪を採用。レールの継ぎ手に左右方向の制限がない構造のため、戸の動きが左右自在で、しかも滑らかになりました。



引戸用戸当りクッション2

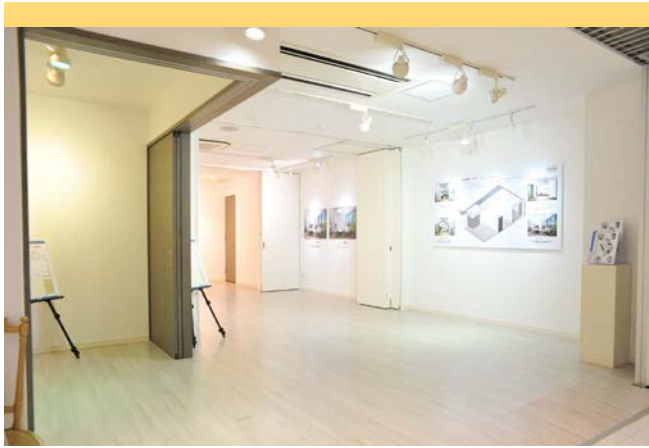
クッション性を重視すると密着度が弱いというこれまでの悩みを解消するため、ベースとクッションの2パーツ式を採用しました。ベースはABS製でねじ止めが可能。クッションはエラストマー製（軟質・硬質の二層構造）で、アタッチメント式となっています。接着剤との併用を推奨しています。



アウトセット引戸錠 OS-B1 [空錠]

幼稚園などで小さいお子さんの手の届かない場所に設置ができ、引き違い戸の両面使用にも最適な引戸錠です。従来の商品よりも加工がしやすいうえに、手掛かりや表示部が大きく、かつ見やすくなりました。ロックや開錠もプッシュするだけのカンタン操作で、利便性がよりアップしています。





「LIVIN' ZONE」では、住まう人のライフスタイルに合わせて変化する間取りや、動線を意識した間仕切りなどをご覧いただきました



好みの位置に付けて飾る

ド・レ・ミ・コレクション

山口 佳美



目にした時に、動きで癒しを感じる

HAKOROMO

山中 悠二郎



動かして、わくわく収納

マルチタウン

櫻井 涼葉



ハマて無くさない♪

ピタッとキー その他1作品

新田 真子



展示空間プロデュース
水書 菜由

東京会場同時開催

ATOM × TOKAI 産学連携作品展

今年で10回目を迎えた、東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程の学生さんたちによる作品展。今回は日常生活を絵のキャンパスと捉え、そこに色彩を与える意味を込めて「パレット」というテーマを設定。彩りあふれる生活を生む作品が提案されています。



生活に鮮やかな色を映す

float mirror

武藤 夏奈子



お手伝いをしてゴールを目指そう!

たのしくおてつ台

大林 風雅



飾りながら優しく照らす

ぷにとらいと

鈴木 伶奈



服を着せて光の違いを楽しむ

Tragen Light

住谷 優彰



湿度が上がると、自然に花がひらく

はなたま

土田 菜摘



*作品の詳細につきましては、アトムリビンテック オフィシャルブログ「ATOM's TODAY」をご覧ください

ご来場くださいましたお客様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



アマント・ジュンという名前には、ひとつのエピソードがあります。世界各地でパフォーマンスを行っているなかで、フィリピンへガレオン船が到来して100年を祝うイベントにジュンさんが招待され、その時、司会者が「Jun: AManTo」を間違えて「ミスター・ジュン・アマント」とダイレクトに読んで紹介してしまったのです。それ以来海外からのオファーはJun AMantoで来るようになり、しかたなくそれを芸名として自らアマント・ジュンと名乗るようになりました。 *「Jun: AManTo」=アマントに所属のジュン



後編

世界を股にかける孤高のダンサー

大道芸をしながら世界を歩く



幼少期に身体が弱かったので中国拳法や古武術で体を鍛え、アクション殺陣と出会い

その後、大道芸をしながら世界を旅して芸を磨きました。大道芸からは「させていただく心」を学びました。



2軸で踊る環太平洋の人々



日本人を含む環太平洋の人たちは、2軸で体重移動しダンスを踊る。この動きにジュンさんが着目し日本独自のコンテンポラリーダンス傾舞(かぶくまい)を創始。欧米のダンスは基本的に横動きで踊り、環太平洋の人々は輪になって踊ります。

映画のオーディションで人生が激変!

2002年日韓ワールドカップが開催された年に、日韓合作の『夜を賭けて』という映画を製作し上映されることになり、そのため1年前からオーディションが行われ、その中にジュンさんも最終選考まで残りました。最終決定まで1か月と少しの間ですが、映画の主人公にどうしても生死の実体験が必要だと感じたジュンさんは、タイとミャンマーが国境紛争をしているまっただ中に行き、さまざまな体験をしてきました。しかし帰国して最後のオーディションで惜しくも選考にもれてしまいました。その後、失意のなか、次の目標を求めなにげなく訪れた大阪・中崎町が、ジュンさんの次の人生のステージとなっていきました。(前回掲載)

悲劇だけでなく喜劇を学び映画の道へ

ヨーロッパの悲劇の戯曲は、その時代の時代背景、関係性がわからないと理解できないものですが、それに比べると、喜劇にはチャップリン映画と1000年以上前の古代ギリシャの戯曲も変わりがないところに魅力を感じ、死闘を演じる悲劇だけでなく喜劇を演じるためにピエロ芸、道化学を学びました。



• Salon de AManTo 天人
大阪府大阪市北区中崎西 1-7-26
HP: <http://amanto.jp/japanese>
Mail: info@amanto.jp
TEL: 06-6371-5840



profile アマント・ジュン

本名、西尾純。大阪の堀江地域に誕生。その少年は、踊り、そして役者に目覚め世界各地を旅し、そこで得た多くのことをもとに、「天人(あまんと)グループ」をつくりあげた。人々が自己表現する場所を提供し、地域の発展とベストマッチさせる、古民家を利用した壮大な実験が進行中。古民家の店舗への再生はもとより、さまざまな人生の再生の手助けもしている

読者の声

「アテナの道具箱」の大森勇輔さんの記事、よかったです。小児マヒの女性がおしゃれを楽しめる靴を作ったエピソード、素敵でした。ATOMNEWSは多彩な記事が載っていて、読みごたえがありますね。
 (大阪府 S・M様 女性)

サロン・ド・アマント、行ってみたい! 子どもがそんな風に利用できるなんて!! ウワ〜です。
 (京都府 ガタン様 男性)

前回のキレドさんの記事で、キレドファンになってしまいました(友人もまき込んで)。私は病気で口から栄養がとれない体となってしまう、胃ろうから流動物を入れているのですが、キレドさんの野菜ピューレは安心してお腹に入れられて、本当に嬉しいです。
 (千葉県 hana様 女性)

「住まいに役立つ仲間たち」の同じ府中に住む塩浦氏のイラストが、いい味出しています。私も囲炉裏の恵みを受けて育ちました。昭和初期のアトム様の金具の数々も、台所の近代化に大きな役割を果たされたものですね!!
 (東京都 たまのり様 女性)

大聖堂の写真が素晴らしかった。
 (神奈川県 Y・Y様 男性)

いつもありがとうございます。大工だった85歳の父に会いに、貴誌を持参し、実家へ行くのを楽しみにしています。
 (東京都 M・Y様 女性)

幼稚園、保育園、こども園等に使用されている金物を取り上げてほしいです。
 (大阪府 ケンシロウ様 男性)

編集後記

私の通っていた短大の学科では、卒業論文は400字詰め原稿用紙に手書きで、製本した状態での提出が決められていました。「卒論だけでも大変なのに、その上自分で製本なんてムリ」と早々に感じた私は、製本を学校から紹介されたプロにお願いしました。なんとか卒論を完成させ、お店に原稿を持ち込むと、ただの原稿用紙だったのが数日後には立派な本になっていました。達成感とうれしさで、家族や友人に見せて回りました(ちなみにこの時は、「アテナの道具箱」でご紹介した本間さんの本とは違い、和綴じでした)。卒業してから随分と時間が経ちましたが、その卒論はずっと本棚の片隅にあります。
 (伊勢大輔)

INFORMATION

アトムリビンテックは「日経IR・投資フェア2017」に出展します!

8月25日(金)、26日(土)の両日、東京ビッグサイトで開催される日本経済新聞社主催の「日経IR・投資フェア2017」に出展します。当日は、当社ブースにて個別に会社説明を行うほか、特設会場にて会社説明会を実施します。ご来場をお待ちしております。

詳しくは当社IRサイトをご覧ください www.atomlt.com/ir



管理部 経理課 吉野 弘
 経理業務を担当

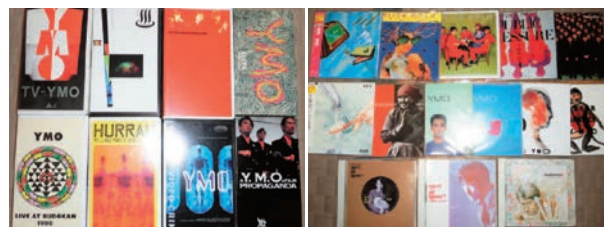
私、元々出不精な性格なもので、休みの日は家にいることが多いんですよ。そういった訳で、家でのおんびりしながら音楽でも聴いているのが、私にとつての至福の時間です。まあ、私も40代の仲間入りをしたものから、家においてばかりでは体力が落ちてしまいますから、時には外に出て散歩したりもするのですが、そんな時にもウォークマンのシャッフル機能を使っています。

私が普段よく聴いている音楽のかなりの部分は、一つの出会いがルーツとなっています。あれは、私が高校生になって間もない頃なので、1992年の春頃でしたでしょうか。きっかけはよく覚えていないのですが、YMO(イエロー・マジック・オーケストラ)にもすぐくはまったんです。

当時は、散開(解散)してだいぶ経っていたのですが再結成の噂があつて(翌年本当に再結成し

ました)、過去の貴重な音源や映像が世に出だした頃だったので、お金を貯めて買いたくりました。写真にあるのは、当時高校から大学時代に購入したビデオやCDの一部です。今はVHSテープを再生するビデオデッキをもう持っていないませんが、学生時代はお金がないですから、その一つひとつがとても思い出深いですね。まだインターネットが家庭に普及する前の時代でしたから、本やテレビで情報収集をして、YMO周辺の音楽を聴いて趣味の幅を拡げていき、それが現在の自分につながっています。

例えば2012年の事ですが、バート・バカラックの来日公演があつたので観に行つたのですが、これも元をたどればYMOとの出会いがきっかけです。いやー感動しましたね。「本物見ちゃったよ!」つてね。



高校から大学時代に購入したビデオとCD

“ウォークマン”はソニー株式会社の登録商標です

個人情報の取り扱いについて

アンケートや読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。



住まいの金物、取りそろえました。



New!

www.atomlt.com/catalog/

住まいの飾り職人
ATOM LIVINTECH **アトムリビントック株式会社**

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)
 特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833
 卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435
 ■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5
 アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565
 亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
 TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282
 ■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
 TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015
 ■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
 TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661
 ■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F
 TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



www.atomlt.com